



**令和5年度四條畷市一般会計補正予算(第3号・第4号)の概要
(エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策など)**

概要説明

この度、エネルギー・食料品価格等の物価高騰等により影響を受けている市民生活や地域経済を支えるため、本市独自施策として補正予算(第3号・第4号)を取りまとめ、第3号については5月24日(水)の5月第2回臨時議会、第4号については6月22日(木)の6月定例議会において可決いたしました。

補正予算では、広く市民の暮らしへの支援として、全市民を対象に一人あたり5,000円分の市内取扱店で使用できる「なわてみんなで頑張ろう商品券」の配布、民間保育施設の給食食材費の高騰への対策のほか、新型コロナウイルス感染症関連の事業として、市民が安心して生活できるように保健師・看護師等が健康・医療・育児などの相談に24時間対応する「なわて健康相談24」の実施期間延長、コロナ禍において感染リスクと隣り合わせのなか医療・福祉・衛生業務に従事した方々への感謝金の支給などを計上しております。

(詳細は別紙のとおり)

問い合わせ

電話 072-877-2121 (代)

各所管課 担当：別紙参照

財政課 担当：川崎 (内線 326)

四條畷市 令和5年度 一般会計 補正予算（第3号・第4号）

エネルギー・食料品価格等物価高騰対策市独自事業

エネルギー・食料品価格等の物価高騰下においても、市民が安心して生活できるように、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金や新型コロナウイルス感染症対策基金を活用し、次の事業を実施します。（以下、抜粋）

1. 市民の暮らしの支援

(千円)

1) 生活支援・地域経済活性化事業「なわてみんなで頑張ろう商品券」

335,927

エネルギー・食料品価格等の物価高騰下において、市民生活支援と市内経済の活性化を後押しする観点から、全市民を対象に一人あたり5,000円分の市内取扱店で使用できる商品券を令和2年度、令和3年度、令和4年度に引き続き配布。10月発送予定。

担当:
新型コロナウイルス
感染症及び原油価格・
物価高騰対策
プロジェクトチーム

2. 給食食材費高騰対策

(千円)

1) 民間保育施設の給食食材費高騰に対する補助

4,000

民間保育施設の給食食材費の高騰への対応として、施設規模に応じて一定額を民間保育施設に補助する。
利用定員20人未満5万円、70人未満10万円、90人未満25万円、90人以上50万円。

担当:子ども政策課

新型コロナウイルス感染症関連事業等

1. 市民の暮らしの支援

(千円)

2) 健康・医療・育児に関する総合相談事業「なわて健康相談24」の実施期間延長

1,899

市民が安心して生活できるよう、健康・医療・介護・出産・育児・メンタルヘルスなどに関する相談に、保健師・看護師等の専門知識を有する相談員が、電話やFAX、パソコンやスマートフォンを通じたチャットポットで、土曜日・日曜日を含む毎日24時間対応。令和4年9月から開始し、令和5年8月末まで実施予定のところ、令和6年3月末まで延長。

担当:福祉政策課

2. 医療・福祉・衛生従事者への支援

(千円)

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されるまでの間、感染リスクと隣り合わせのなか、医療・福祉・衛生業務に従事した方々へ、1人あたり3万円の感謝金を、事業所を通じて支給する。

1) 医療関係従事者への感謝金

65,633

市内の130医療機関などの従事者に対し支給（約2,100人）

担当:保健センター

2) 福祉関係従事者への感謝金

104,365

市内の232福祉関係施設の従事者に対し支給（約3,400人）

対象：民間保育施設（16事業所）、障がい者関連事業所（104事業所）、高齢者関連事業所（112事業所）

担当: 子ども政策課
障がい福祉課
高齢福祉課

3) 衛生関係従事者への感謝金

1,410

市内のごみ収集などの衛生関連事業所（3事業所）の従事者に対し支給（約50人）

担当:生活環境課

その他の主な事業

(千円)

拠点型タクシー移動支援事業（お出かけサポートタクシー）

2,716

本市西部地域において、高齢者や妊産婦などを対象者とし、自宅から市内主要拠点間のタクシー利用に対し支援を行う。利用者は一定額の負担でタクシーに乗車することができ、乗車料金と利用者負担額の差分は市が負担する。

担当:都市政策課

など